

五小っ子

平成30年度 学校便り第8号 (6月19日)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**
『生命を大切にし、進んで学ぶ
心身ともにたくましい子どもを育成する』
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

6年生の優しさ

間もなく夏至を迎えます。1学期も残り一ヶ月となりました。蒸し暑さにも負けず頑張っている五小っ子たちです。

先日、1年生が6年生教室を訪れて自分のペアへお礼のメッセージを手渡しました。入学式から約3ヶ月、毎朝優しくサポートしてくれる6年生は1年生の子どもたちにとっては勿論、1年担任にとっても心強い存在なのです。



お礼のメッセージには「めっちゃ好きだよ。ありがとう。」等々の可愛らしい言葉が綴られています。ペア同士の交流だけでなく、運動会をはじめとした大きな行事や縦割り班掃除での活動においても6年生が低学年を支え、導いている姿を全職員が見届けています。

思春期でもあり、心が不安定な時だってあります。だけど、1年生の純粋な心と笑顔に癒される時もあります。「こちらこそありがとう。」と言う6年生もいました。

これからも良い関係を持ち続けてくれるに違いありません。6年生教室前の掲示板には、運動会後に後輩達から贈られた言葉が今も大切に掲示されています。その中から5年生の言葉を拾ってみました。

- ・毎朝「朝ボランティアや1年生のお世話、委員会の仕事」をてきぱき出来てすごいと思います。
- ・私は、6年生になったら応援団に入ります。こんなに頑張れたのは全て6年生のおかげです。みんなの役に立てる立派な6年生になりたいです。
- ・6年生は全校を引っ張る立場としての凄い努力をしていると思います。次は僕たちがリーダーです。1～5年生を引っ張ります。
- ・6年生の背中を見て「とてもかっこいい」と思います。来年は自分の番だと思うと心がドキドキするけど、頼られる先輩になれるよう頑張ります。

掲示板には担任から次の言葉が添えてあります。「一生懸命にがんばった思いは、必ず通じる事がわかったね。」・・・良き伝統を築いています!!



心に留めてほしい言葉 『啐啄同時(そったくどうじ)』

「啐(そつ)」とは、ヒナが内側からたまごの殻をつつくこと。「たく啄(たく)」は、親鳥が外側から殻をつつくことを言います。

ヒナは自分のくちばしでたまごの殻をつついて生まれてきます。少しずつ時間をかけて自分で自分の殻を割っていきます。

親鳥は子どものペースに合わせて、それを応援する意味で外から殻をつついてやる。

ヒナがまだつつこうとしていないのに親鳥が先につついたら(殻を破ってしまったら)ヒナは生まれることができません。

私たちも同じで、教師や親の思いと子どもの自発とが一致した時、はじめて効果をあげると思います。ほんのちょっと待ってれば子どもがひとりでに覚えたり行動したりするのに、今無理に教え込もうとしたり、教えなくてはならない大事な時期をはずして手遅れになったりすることがないようにしなければなりません。

子どもが私たち親の身勝手を見抜いていることもあります。また、寂しい子どもの心は、親の愛情を求めています。この「啐啄同時」という言葉は、子どもの伸びようとするタイミングと親の伸ばそうとするタイミングが見事に一致することの大切さを教えてくれる言葉だと思います。

もうすぐ7月に入ります。忙しい毎日ですが、子どもたちの健やかな成長のために「今を大切に」頑張ってください。

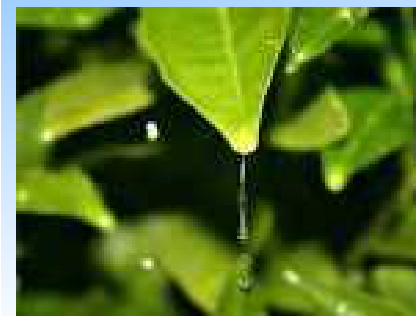


お願い

五小の放課後学習室は、島原市内でも利用度ナンバーワンです。各学年沢山の子どもたちが利用しています。

指導をお願いしているのは、事務補助の石橋さんと退職校長会の皆さん方です。

学習が終わり、お迎えを待つ時間に必要な学習玩具が不足しています。「不要になった絵本や学習玩具がありましたら、放課後学習室にいただけませんか。宜しくお願いいたします。



雨のあと
金子みすゞ

日かげの葉つばは
泣きむしだ
ほろりほろりと
泣いてゐる

日向の葉つばは
笑ひ出す
なみだの痕が
もう乾く

日かげの葉つばの
泣きむしに
たれかハンカチ
貸してやれ

※学校HPからカラー版を見ることが出来ます。(5sho.netで検索)